

平等と正義が平和を創造する



映画監督
ハニ・アブ・アサド

「自爆しかないのか、それともほかに手段はあるのか——。閉塞感とフラストレーションに覆われた日常に絶望し、自爆攻撃に向かうパレスチナの2人の若者の葛藤に迫った映画『パラダイス・ナウ』。ゴールデングローブ賞最優秀外国語作品賞の受賞で世界中に大きな波紋を呼んだ本作を手掛けたのが、ハニ・アブ・アサド監督だ。

イスラエルの攻撃激化、国際社会による自治政府への経済制裁、統一政府の樹立合意…目まぐるしく変化する情勢の中で、人々の厳しい境遇はなおも続く。「平等と正義が平和を生む」と信じ、自身の抵抗を映画という非暴力的手段で表現した監督は、異なる国、文化の人々に、あるパレスチナ人の「生き方」を知ってほしい、と一心に願う。

(続きは裏ページへ)

「パレスチナ人のある“生き方”を自身に重ね合わせてほしい」

映画監督

ハニ・アブ・アサド

Hany Abu-Assad

1961年イスラエル北部ナザレ生まれ。パレスチナ人。テレビ番組の制作などを経て、92年に初のショートフィルム「Paper House」でメガホンを取り、98年映画監督としてデビュー。以後、「The 13The」「Nazareth 2000」「Rana's Wedding」「Ford Transit」を発表。「パラダイス・ナウ」(<http://www.uplink.co.jp/paradisenow>) は、05年ベルリン国際映画祭観客賞、06年ゴールデングローブ賞最優秀外国語作品賞などを受賞し、06年アカデミー外国語映画部門にノミネート。現在、東京都写真美術館(4月27日まで)とアップリンク・ファクトリー(東京都渋谷区)で上映中。



photos by Suto Naotoshi

「自分の命よりも戦うことの意味をより大事だと考えるようになった微妙な心の変化を観客に体感してもらいたい」。それが、自爆攻撃実行者の葛藤を描いた理由の一つです。ヨルダン川西岸の北部ナブルスなどで4カ月かけて行った撮影では、現場のすぐそばでミサイルが落ちたり、銃撃戦が始まったりと多くの危険が伴い、途中で辞めていくスタッフもいました。それでも私が撮影を続けたのは、現実には難しいことも体験できてしまう映画を通して、より多くの人々に自爆攻撃というものを知ってもらい、あるパレスチナ人が選択した“生き方”を自分の人生に重ねてほしいという強い思いがあったからです。

誰しもフラストレーションを抱えることがあるでしょうが、私もパレスチナ人として満たされない気持ちをずっと持っていました。ユダヤ人国家を建設するという理由だけで、祖父や父は突然自分たちの土地を追われ、移り住んだ先では家族も私も差別を受け安心して暮らすことができなかったわけですから。その鬱屈^{うっくつ}した思いをどうかして晴らしたい、非道な現実には命を懸けてでも抵抗しなければという感情に駆られ、いろんな表現方法がある中で、私が選んだのが映画でした。完成したときは、非暴力的な手段で抵抗するという自分の目的が達成できた瞬間でもあったので、達成感よりも静かに^{あんど}安堵したことを覚えています。

現在、パレスチナ内部での対立が表面化し、多くの市民が犠牲になっています。しかし、どんな理由があるにせよ、これは非常に悲しいことです。イスラム原理主義組織ハマスと、アッバス自治政府

議長の出身母体ファタハの対立に関して言えば、どちらも自由を求めて戦っているわけですが、それは本当に戦わなければならない占領者との関係を後退させているだけだと思います。

占領者との戦いはこの先何年続くか分かりません。ただ、市民権、人権、民族自決権、労働の権利など、パレスチナとイスラエルの間にまったくの平等が生まれないう限り、関係改善は難しい。

もしも世界が私たちを見捨ててしまったり、これ以上制裁的な措置を取り続けるのであれば、占領者に対し映画で描いたような形で戦いを挑むことも一つの選択肢だと考えるパレスチナ人もいますでしょう。私は一人の映画監督として、軍事的な作戦よりも、平等や正義が平和を切り開くと信じていますが、国際社会がパレスチナを見放すようなことがあれば、それは間接的ではなく、自爆攻撃を直接サポートしているようなもの。でも先にはむなしさしか残らない。日本の皆さんもどうかこの現実から目を背けないでください。そして、どんな相手にも公平であり続けてほしい。パレスチナ人も、人間として、市民として平等に権利を有しています。無関心は不正義を支持しているも同然だと思います。

本作のタイトル「パラダイス」は来世を、「ナウ」は非道な現実を意味し、対峙する2つの空間を並列させています。自爆攻撃というのは、自分が殺される行為であり、また自分を殺す行為でもある。一瞬のうちに自分が同時に相反するものになる。そんな矛盾をはっきりと表したのが「パラダイス・ナウ」なのです。